

# 国語科 授業構想

平成26年10月10日(金) 5校時 1年4組教室  
 1年4組(男子16名、女子17名、計33名)  
 指導者 教諭 阿部明弘

1 単元名 4 いにしへの心にふれる 今に生きる言葉

## 2 教材観

本単元は、音読等を通して古文や漢文特有のリズムを味わい、古典の世界に親しむことをねらいとしている。日常使っている言葉を振り返ってみると、今でも中国古典に由来するものを数多く目にすることができる。国語辞典だけでなく様々な資料で調べさせながら、自分たちにとって身近な言葉であるという意識を持たせ、自らの表現に活用させるようにしたい。

## 3 生徒の実態

小学校5年生で「論語」を取り上げ、漢文特有の読み方とだいたいの意味をとらえる学習を行っていることから、漢文調の文章に大きな違和感がないものと考えられる。

## 4 本時について

(1) 本時の学習 今に生きる言葉 故事成語 矛盾

(2) 本時のねらい

故事成語の意味に沿った体験作文を書く。

(3) 本時における「わかる生徒の姿」

①自分の体験を表す故事成語を選択し、体験文の材料を決め、完成させることができる。

【書くこと ア】

②故事成語の意味と体験の内容・出来事が合致していることを指摘できる。

【書くこと オ】

## (4) 展開構想

学びのステップ	学習内容と予想される生徒の反応	指導上の留意点	かかわりあいの形態
導入	○調べた故事成語を活用して体験文を書くことを知る。		個人 A隊形
学習課題 学習した故事成語を使って、体験作文を書こう。			
展開 第1ステップ	○最初の授業で触れた体験文の例を再度紹介し、体験の書き方の条件を確認する。 ○題材となる故事成語を決定させ、体験文を書く。 ・題材とする故事成語を自分が調べた中から選択し、自分の体験を思い起こしている。	なかなか先に進まない生徒には他の故事成語に変えてみるよう助言する。 ① 観察 学習プリント	個人 A隊形
第2ステップ	○体験文の内容・出来事が使用する故事成語の意味に合っているかを具体的に作文中から指摘し合う。 ・体験の出来事と故事成語の意味が合致している根拠を指摘し合っている。また、文や語句、故事成語の修正をしている。	作文から故事成語を空欄にして提示するよう指示しておく。 ②観察	C隊形
ラストステップ	○学習プリントで学習を振り返る。		個人 A隊形